

キヤノン株式会社
2025年経営方針説明会

プリンティンググループ

2025年3月7日

代表取締役副社長 CTO プリンティンググループ管掌

本間 利夫

Canon

本資料で記述されている業績見通し並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

プリンティンググループ 経営方針説明

目次

- ・ **グローバル優良企業構想 PhaseVIの
戦略・取り組み（重点施策）の振り返り**
- ・ **昨年（2024年）迄の活動の進捗**
- ・ **重点施策のこれからの展開**

【振り返り】

PhaseVIの戦略・取り組み（重点施策）

- **事業戦略** **事業構造改革の強化で、既存事業分野の収益の拡大と新規事業分野の売上の拡大**を実現
- **取り組み（重点施策）**
 - **ものづくり革新** **グループ連携の深耕**による「商品開発力の強化」
プラットフォーム化改革の全展開による「商品力の強化」
キーバリュー技術の強化による「商品の進化」
 - **販売革新** **スマートサービスシステム**による「販売の高能率化」

【振り返り】

重点化市場の再構築と事業領域の拡張

■ 市場の再区分化と重点市場の特定 / 事業領域の拡張

市場の定義

2023年市場規模

2027年市場規模

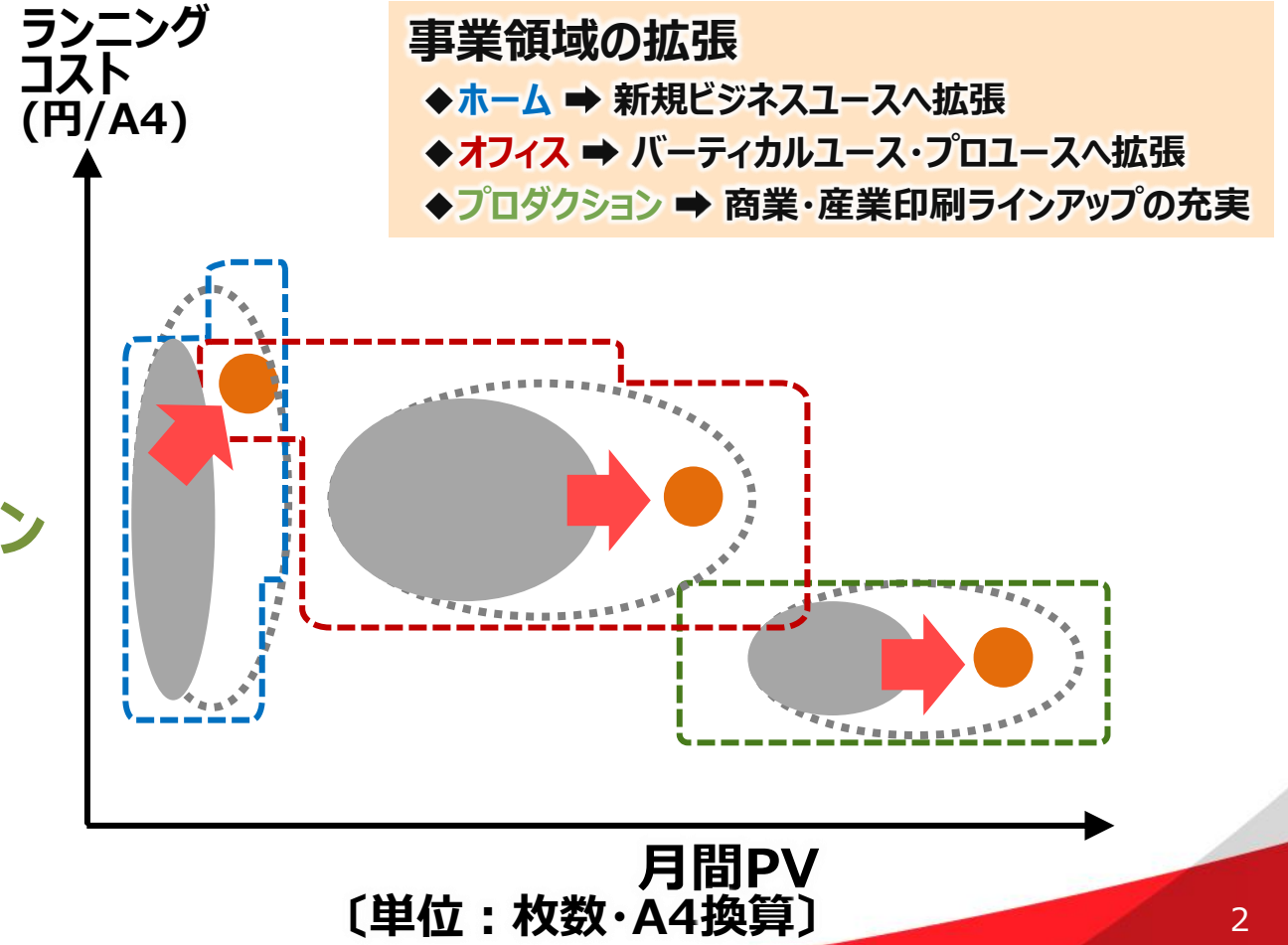
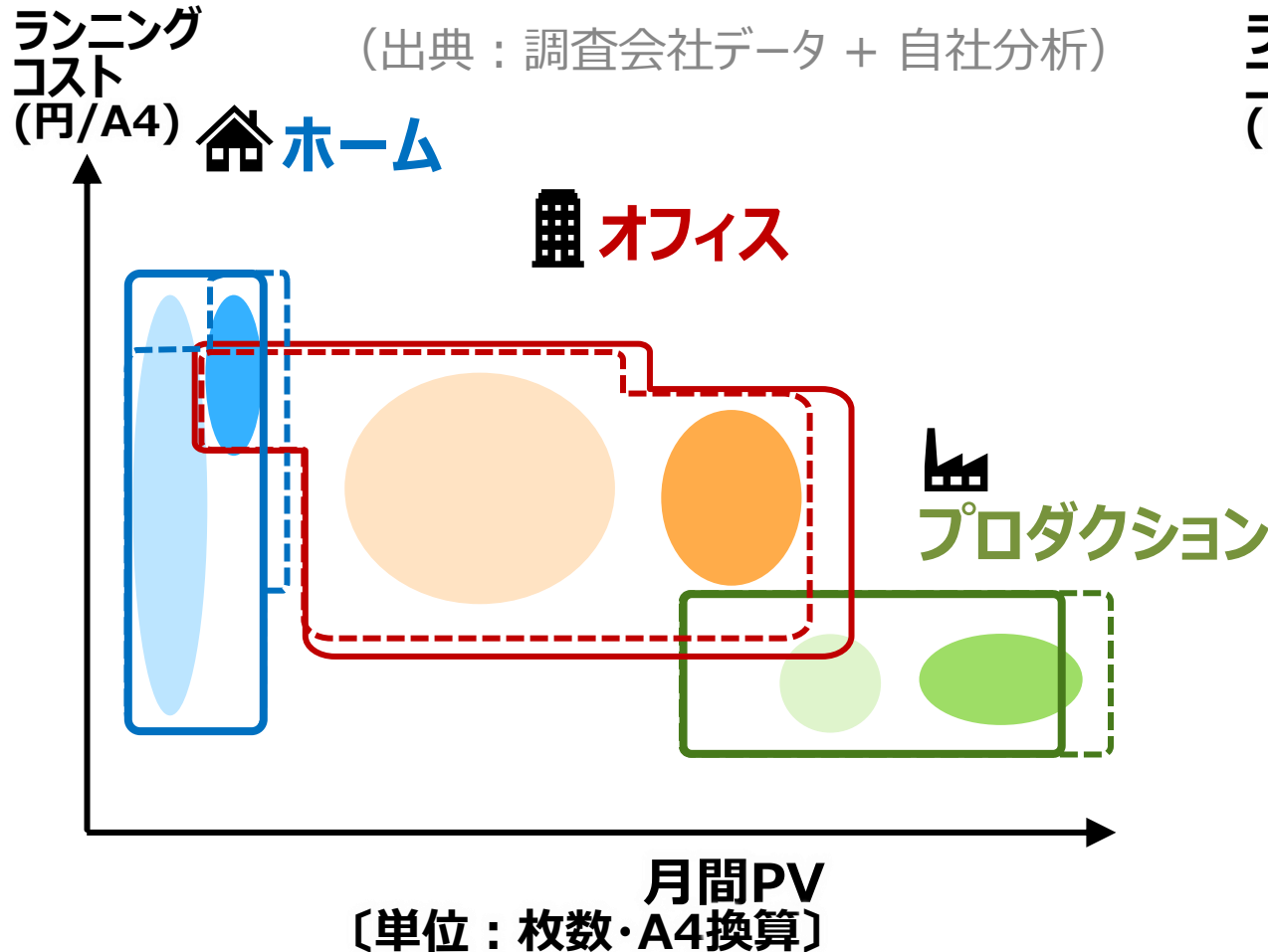
低成長
低収益

高成長
高収益

既存分野

新規分野

(出典：調査会社データ + 自社分析)



【振り返り】

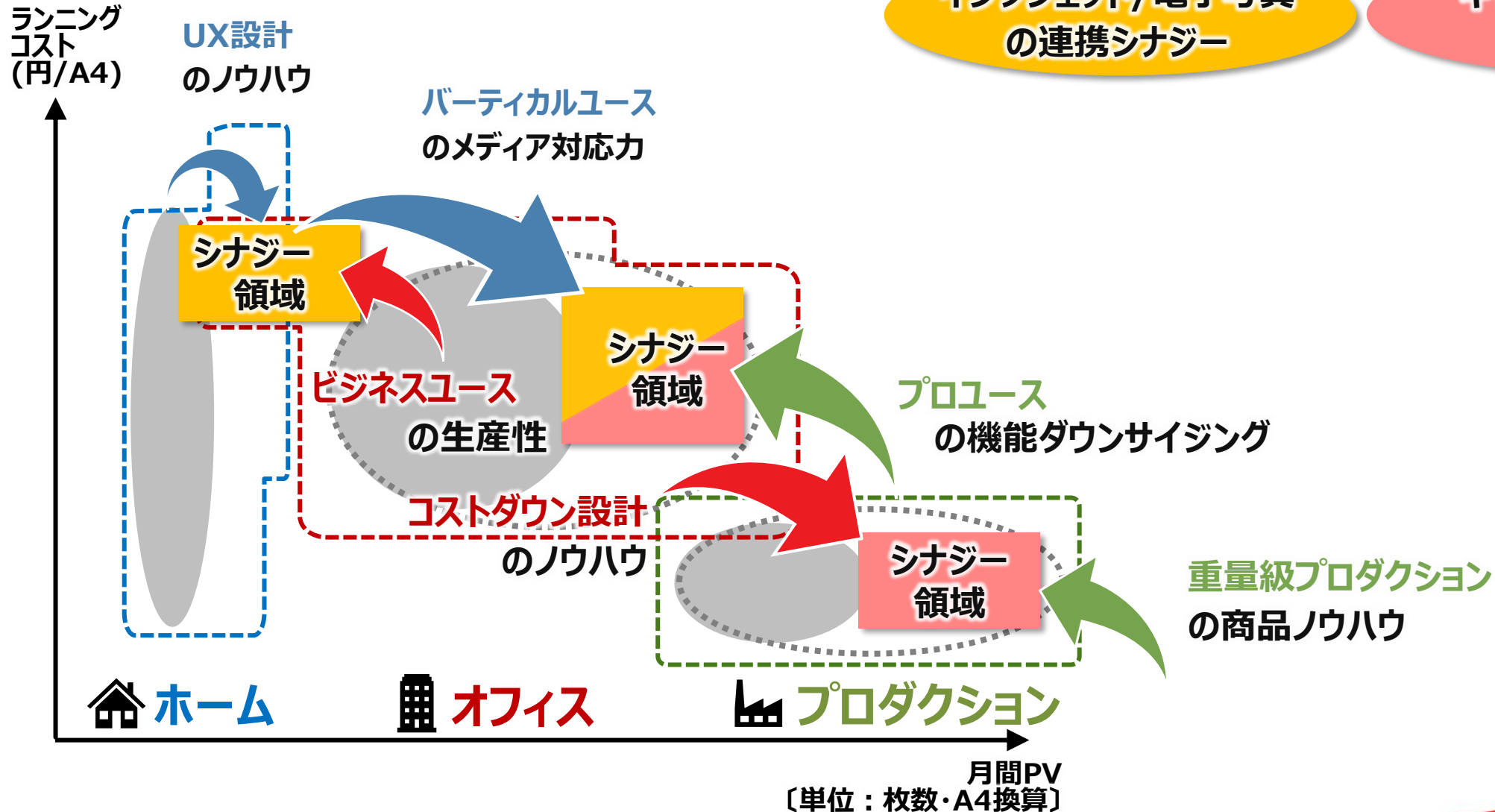
重点化市場の再構築と最適化商品の開発

■ グループ連携による商品開発力の拡大

※Canon Production Printing

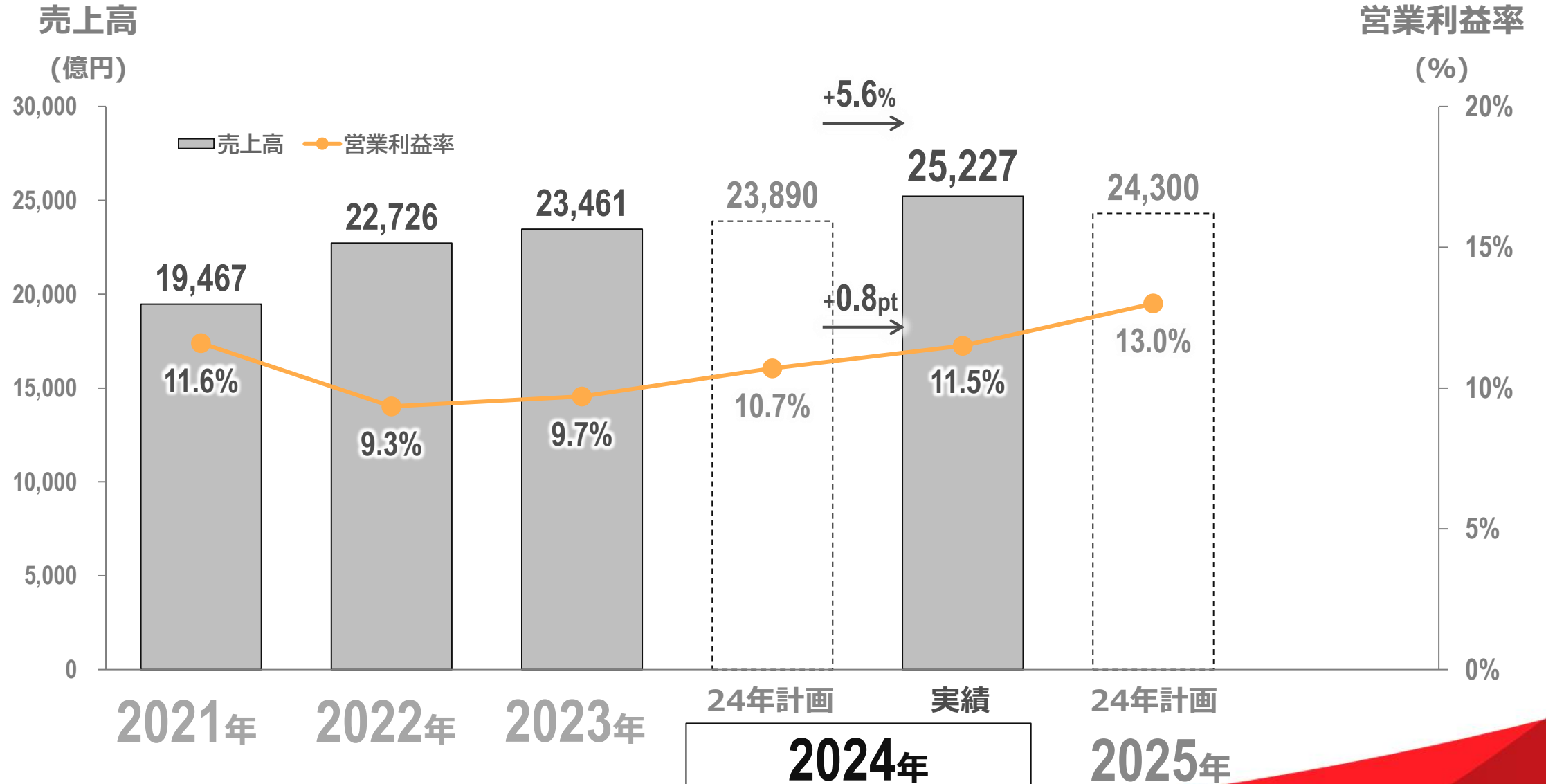
インクジェット/電子写真
の連携シナジー

キヤノンInc./CPP※
の連携シナジー



昨年（2024年）迄の活動の進捗

■ プリンティンググループの売上・利益率の推移



昨年（2024年）迄の活動の進捗

■ 成果と課題

- 「プラットフォーム化改革」と「グループ連携」の進展
 - 既存分野商品の拡販と原価低減
(商品評価の向上とサービス業務負荷の軽減)
 - 新規分野商品の立上げの進展
(プロダクション、オフィスの新商品)
- プロシューマーIJ商品は成長路線への回帰途上
 - 商品と販売の抜本対策の投入

進捗

ものづくり革新による商品力強化の進捗

■ W.W.マーケットシェアの状況

プロダクション

・商業印刷プリンター
連帳 (中国除く)

・商業印刷プリンター
A3+

・大判プリンター
GA/CAD

2023年

1位
33%

1位
27%

2位
31%

2024年

1位
38%

1位
31%

2位
30%

+5pt



+4pt



▲1pt



+1pt



▲2pt



< 成果と課題 >

✓ 開発連携で商品力を強化

✓ imagePRESS Vシリーズ
拡販でシェアNo.1獲得 (2年連続)

✓ 本質性能強化で
4年連続シェアNo.1

✓ 競争力の強化
(商品系列を再構築)

オフィス

・A3機MFP

1位
18%

1位
19%

プロシューマー

・IJプリンター

3位
27%

3位
25%

成果

ものづくり革新による商品ラインアップの整備

■ プラットフォーム化改革の進展による商品価値の拡大

2021年 ~ 2024年

コア技術

商品

市場価値

メーカー価値

プラットフォーム開発

プラットフォーム内で
複数モデルを一括構想設計



完全品質

開発スピードアップ



imageRUNNER ADVANCE DX シリーズ
プラットフォーム化率43%→95%



商品の本質性能

安全

高セキュリティ

安心

高品質
高安定性

簡単

分かり易く
使い易いUX

品質向上による
サービス負荷の
低減

・ サービス原価の
低減

・ 開発期間の短縮
によるコストの
削減と商品の拡大

・ 利益率の改善

成果

ものづくり革新による新商品の立上げ

■ グループ連携の進展と、プラットフォーム化改革の進展

ランニング
コスト
(円/A4)

UX設計
のノウハウ

バーティカルユース
のメディア対応力

ビジネスユース
の生産性

コストダウン設計
のノウハウ

インクジェット/電子写真
の連携シナジー

※Canon Production Printing N.V.

キヤノンInc./CPP※
の連携シナジー

オフィス商品

imageFORCE C7165



次世代
カラー複合機
新内製印刷機

プロユース
の機能ダウンサイジング

シナジー
領域

重量級プロダクション
の商品ノウハウ

プロダクション商品



varioPRESS iV7

商業印刷向けB2サイズ対応インクジェットデジタルプレス



LabelStream LS2000

キヤノン初の産業印刷向け水性インクジェットラベル印刷機



varioPRINT iX1700

商業印刷向けB3サイズ対応インクジェットデジタルプレス

ホーム

オフィス

プロダクション

月間PV
〔単位：枚数・A4換算〕

進捗

ハイデルベルグ社(独)との業務提携開始

■ 2024年11月 ハイデルベルグ社と**契約締結**



デジタル印刷機トップシェアの技術・商品力



ハイデルベルグ社

Heidelberger Druckmaschinen AG
アナログ印刷機トップシェアの市場知識・顧客層

■ 対象製品

B3サイズモデル

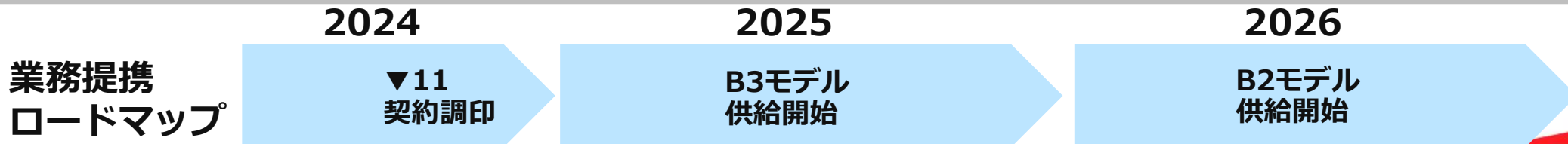
製品名 HEIDELBERG Jetfire50



drupa2024 (独)
ハイデルベルグブースにて発表

B2サイズモデル

製品名 HEIDELBERG Jetfire75



成果

ものづくり革新による新商品の立上げ

■ グループ連携の進展と、プラットフォーム化改革の進展

ランニングコスト (円/A4)

UX設計のノウハウ

バーティカルユースのメディア対応力

ビジネスユースの生産性

コストダウン設計のノウハウ

インクジェット/電子写真の連携シナジー

※Canon Production Printing N.V.

キヤノンInc./CPP※の連携シナジー

オフィス商品

imageFORCE C7165

次世代カラー複合機
新内製印刷機

プロユースの機能ダウンサイジング

シナジー領域

ホーム

オフィス

プロダクション

月間PV [単位：枚数・A4換算]

プロダクション商品



varioPRESS iV7

商業印刷向けB2サイズ対応インクジェットデジタルプレス



LabelStream LS2000

キヤノン初の産業印刷向け水性インクジェットラベル印刷機



varioPRINT iX1700

商業印刷向けB3サイズ対応インクジェットデジタルプレス

重量級プロダクションの商品ノウハウ

進捗

ものづくり革新による新商品の立上げ

■ グループ連携の進展と、プラットフォーム化改革の進展 キーバリュー技術による商品力の再強化

2021年 ~ 2023年

2024年 ~

コア技術

キーバリュー
技術開発

本質性能
の
進化

高画質
小型化
プロ仕様

+

プラットフォーム
開発

商品



imageFORCE
C7165

imageRUNNER
ADVANCE DX



提供価値

快適

+

安全

安心

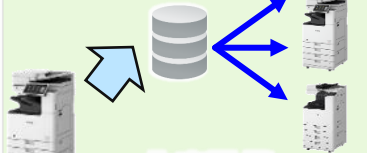
簡単

コア技術

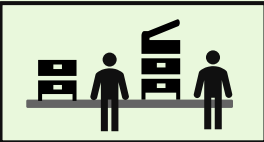
プラットフォーム開発

プラットフォーム内で
複数モデルを一括構想設計

デジタル
設計資産



生産設備
の共通化



完全品質

開発スピードアップ

商品

CL

BW



imageRUNNER
ADVANCE DX
シリーズ

CL

BW



提供価値

安全

高セキュリティ

安心

高品質
高安定性

簡単

パーツ共通化
共通UX

重点施策のこれからの展開

- **プラットフォーム化改革 2 の加速**
- **キーバリュー技術開発の顕在化**
- **スマートサービスシステムの立上げ**

進展

ものづくり革新による商品開発の強化

■ プラットフォーム化改革の全展開とキーバリュー開発の強化による商品の進化

Phase VI
目標

現在

グループ
統合開発

統合要素技術開発

IJ/電子写真の連携シナジー
キヤノンInc./CPPの連携シナジー

キーバリュー技術開発

新商品
ラインアップ
展開

本質性能の進化で
ラインナップの刷新&強化

新規要素技術プラスで
最適商品の開発を実現

ものづくり
革新

プラットフォーム化改革 1

プラットフォーム化改革 2

オフィス商品

プロダクション商品

プロシューマIJ商品

※SCEを支える開発基盤として
プラットフォームを構築

完全品質・原価低減
開発スピードアップ・バリエーション拡大

進展

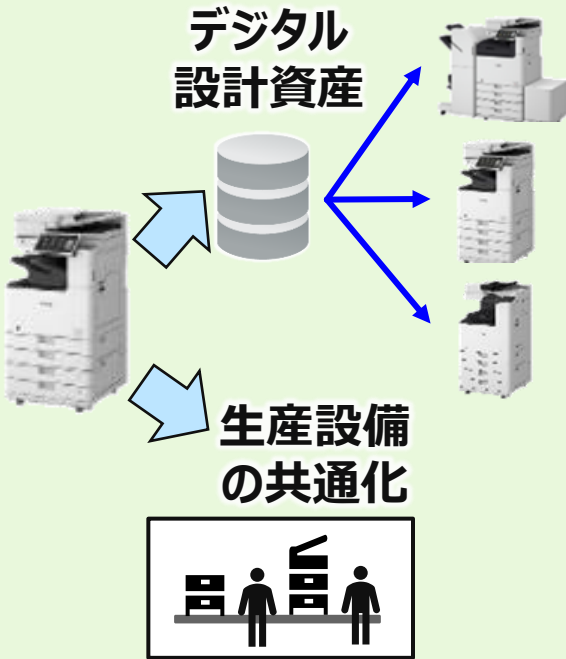
ものづくり革新による商品開発の強化

■ キーバリュー技術開発による商品力の再強化

2024年 ~

プラットフォーム技術開発

プラットフォーム内で
複数モデルを一括構想設計



完全品質
開発スピードアップ

+

キーバリュー技術開発

本質性能の進化

画質・生産性
・成果物・小型
...etc.



製品の稼働率アップ^o

寿命・稼働状況
・メンテナンス性
...etc.



顧客の業務クオリティアップ^o

自動化・省力化
・DX・AI
...etc.



時代適応への機能進化

セキュリティ・UX・GX
...etc.



提供価値

快適

+

安全

安心

簡単

【資料】

キーバリュー技術開発の進展（顕在化）

キーバリュー

本質性能の進化(高画質・小型化)

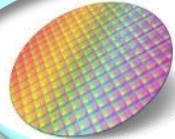
“imageFORCE C7165” 搭載

■ 実現技術：新露光デバイス

D² Exposure (ディー・スクエア・エクスポージャー)

(Defined × Detailed Exposure : シャープ×高精細な露光デバイス)

半導体/MEMS 製造技術



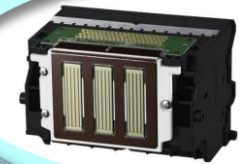
LEDデバイス
開発/製造

グループ連携シナジー

高解像度LEDプリントヘッド

キヤノン独自技術

インクジェット高密技術



超高精度
実装技術



D² Exposure



LED発光部



内製コンポーネント 生産拠点

自動化生産技術



高精度量産
技術

超高精細 4800dpi 業界初

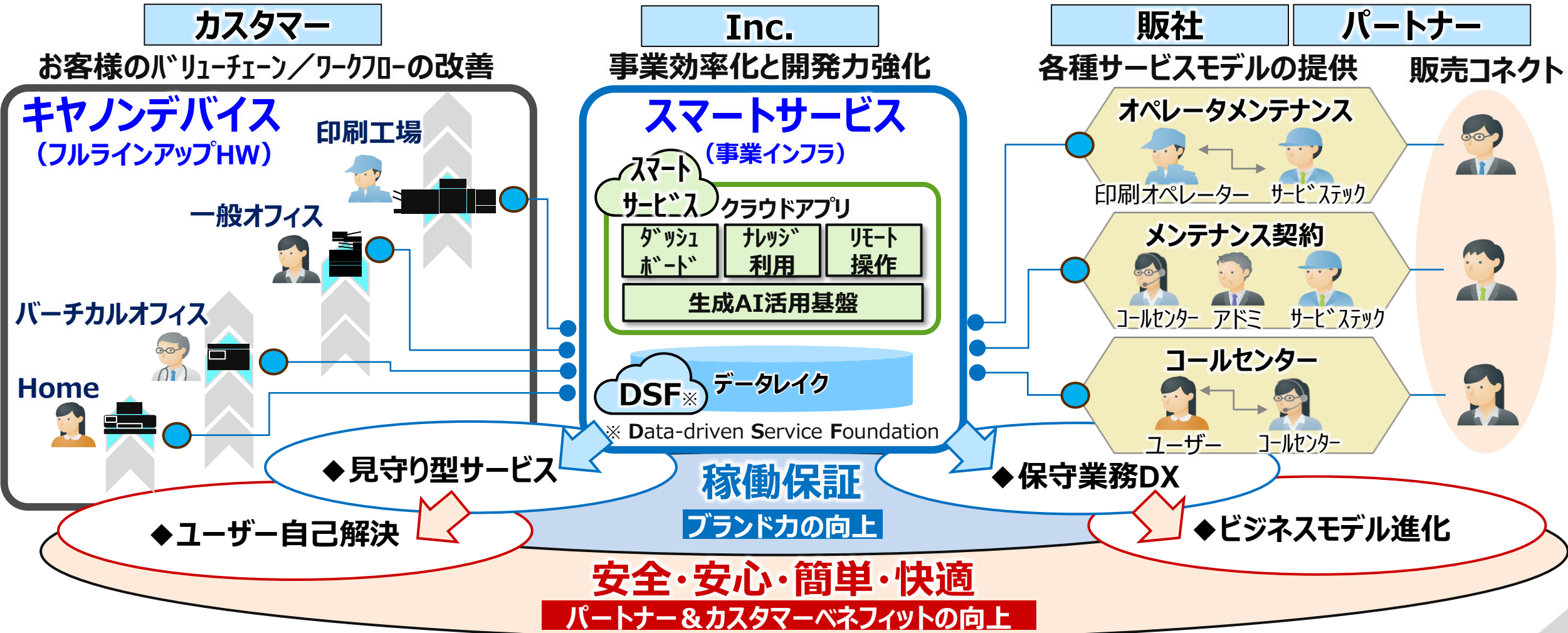


国内生産
技術力

豊かな表現力で訴求力のある印刷物を実現

進展 スマートサービスシステムによる販売の高能率化への展開

■ デバイス+事業インフラによる顧客・パートナー・キヤノンの新しい価値の創出



■ 2026年初めの稼働を計画

2025年目標 (プリンティンググループ)

